

心の絆

NO. 3



楽しみにしていた修学旅行、宿泊学習、金沢校外学習が終わり、今は中間考査に向けて、一日一日を大切に過ごしていることと思います。

さて、5月中旬に差しかかり、汗ばむ日も多くなってきました。今年も衣替えへの移行期間を設けます。期間中は、天候や体調に合わせて夏服も着用することができます。また、夏服においても、下記のことを守って、規律ある学校生活を送っていきましょう。

移行期間 5月20日（月）～5月31日（金）
6月 3日（月）より全員夏服

男女共通

- ・制服の胸ポケットに名札・校章・組章をきちんと付ける。（男子も台布を用いる）
- ・袖口のボタン、ホックをきちんと留める。
- ・長袖のシャツの袖を曲げない。暑くなってきたら半袖の制服を着る。

男子

- ・白のカッターシャツを着用する。第一ボタンのみ外してもよい。
- ・ベルト（黒）をきちんとしめ、カッターシャツの裾はズボンの中に入れる。（ベルトがしっかり見えるようにしておく）
- ・ズボンはタックの無い標準タイプとする。
- ・ズボンの長さとお靴下の長さを適切なものにして、肌が見えないようにする。

女子

- ・白のセーラー服を着用する。
- ・セーラー服の丈は、動いてもスカートのベルトの部分が十分にかくれる長さとする。
- ・スカート丈は膝がかくれる長さとし、短くしたり長くしたりしない。

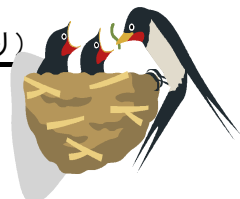
決まりを守り、南部中学校の生徒らしく、**自覚と責任**ある行動をしよう！（生徒心得より）

身だしなみ1 制服**○男子**

- ・夏期間は、白無地の長袖又は、半袖のカッターシャツを着用しましょう。
- ・学生服の下に着るものは、季節によってカッターシャツ、Tシャツ、トレーナー、セーター、ベスト等いづれでもよいが、色や形は派手にならないようにしましょう。

○女子

- ・夏期間は、白の長袖セーラー服（幅1cmの白線1本）又は、白の半袖セーラー服を着用し、校章・組章・名札を付けましょう。
 - ・セーラー服の下に着るものは、上着に調和する色や形のものにしましょう。
- 形は、えりなしVゾーンから見えないものが望ましい。

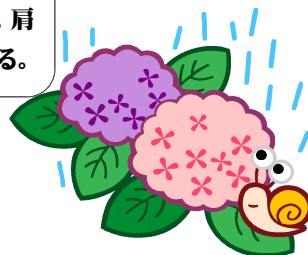


髪を機会に**髪**の確認しましょう！

身だしなみ3 髪

- ・中学生らしく、清潔な髪型にしましょう。
- ・勉強、スポーツのしやすい髪型にしましょう。
- ・自然な髪型にし、周囲に違和感を与えない髪型にしましょう。
- ・髪を染めたり脱色したりしてはいけません。

- ・男子は、まゆ、耳、えりにかからない長さ
- ・女子は、まゆ、肩にかからない長さとする。肩にかかる場合はゴム（黒・紺）できちんと縛る。



衣替えは、平安時代から始まった習慣だそうです。中国の風習にならって4月1日及び10月1日に夏服と冬服を着替える
と定めて、これを「更衣（こうい）」と呼びました。しかし、天皇の着替えの役目を持つ女官の職名も同じく更衣と言うため、
民間では更衣とは言わず「衣替え（ころもがえ）」と言うようになりました。

江戸時代からは、旧暦の6月1日と10月1日に行うようになり、明治政府も洋服を役人・軍人・警察官の制服に定め、夏
服と冬服の衣替えの時期も制定した。明治6年（1873年）1月1日より太陽暦が採用され、太陽暦6月1日から9月30日が
夏服、10月1日から翌年5月31日が冬服と定められました。やがて、これが学生服に、次第に一般の人にも定着し、官公
庁・企業・学校が毎年6月1日と10月1日に衣替えを行うようになりました。